

| | | | | | |
|------|-----------|-----------|-------------|------------|--------|
| 講義名 | 専門基礎演習(人) | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 久保 泉 | 開講期・曜日・時限 | 前期 火曜日 1 時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2 年生 |
| | | | | ナンバリング・コード | SEM240 |

主題と概要

本科目は、2年前期から本格的にスタートする専門科目ならびに、「研究演習（2年後期）」「研究演習（3年）」「研究演習（4年）」などの科目から構成される『ゼミ（ゼミナール）』の円滑な履修につなげる重要な位置づけを担っている。
専門科目の受講やゼミまでの研究を円滑に進めるためには、知的リテラシーと知的コミュニケーション力から成る『アカデミック・スキル』（具体的には「聞く・調べる・読む・書く」に関する能力・「説明・議論・討議」に関する能力）が求められることから、本科目の受講により「アカデミック・スキルの土台」を強化しておく必要がある。
これらのアカデミック・スキルは、大学在学中の話に限るものではなく、大学卒業後の実社会での生活や活動においても十分に役立つものである。そのために、1年次の自己発見とキャリア開発科目や基礎能力科目の学習内容を基に、それを発展させ、大学生としてのより高度なレベルの能力育成をおこなう。授業進行は指定する教科書の内容に沿ったものとし、知的リテラシーの高度化/知的コミュニケーション力の育成・強化といった中心課題に向けて、少人数クラス別の授業を展開する。

到達目標

観光学科の学生として最低限必要な【知的リテラシー】を身に付け、活用できるようになる。
観光学科の学生として最低限必要な【知的コミュニケーション力】を身に付け、活用できるようになる。
観光学科が射程とする研究の入口を体験し、高度化する大学での学修や探究に対応できるようになる。

提出課題

「リーディング（読む）」に関する課題 1回
「情報を集める（調べる）」に関する課題 2回
「ライティング（書く）」に関する課題 2回
「プレゼンテーション（説明的に説明する）」に関する課題 1回

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出物に対して教員から個別にフィードバックする。

評価の基準

・「リーディング（読む）」に関する課題：15%（1回分）
・「情報を集める（調べる）」に関する課題：20%（2回分：10% X 2回）
・「ライティング（書く）」に関する課題：30%（2回分合計）
・「プレゼンテーション（説明的に説明する）」に関する課題：25%（資料15% / 発表の充実度10%）
・「ディスカッション（議論する）」の授業への取り組み・参加：10%

履修にあたっての注意・助言他

アカデミック・スキルの育成・強化については、順序立った体系的な受講と学修が重要になることから、履修者の「継続的な授業出席」「課題への真面目な取り組み」を期待する。

教科書

・『知のナビゲーター：情報と知識の海・現代を航海するための』・ 中澤務・森貴史・本村康哲（編） くらしお出版 1980 9784874243725

参考図書

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

その他

授業中に適宜資料（ワークシート等）を配布する。

授業計画

04/14【イントロダクション】専門基礎演習の意義づけと授業の進め方に関する説明、学生の自己紹介
予習内容：指定教科書を読み、シラバスを確認しておく。また、自己紹介の内容を考えておく。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直し、授業内容の理解を確かなものにする。（60分）
04/21【【知的リテラシーをおくく】リーディング（読む）】
予習内容：教科書（第1章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直し、内容の理解を確かなものにする。（90分）
04/28【【知的リテラシーをおくく】情報を集める（調べる）】
予習内容：教科書（第2章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直しして内容の理解を確かなものにする。（330分）
05/12【【知的リテラシーをおくく】情報を集める（調べる）】*前置課程科目による実務的ガイダンスの予定
予習内容：教科書（第2章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直しして内容の理解を確かなものにし、指定課題に取り組む。（330分）
05/19【【知的リテラシーをおくく】リーディング（読む）】
予習内容：教科書（第3章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直し、内容の理解を確かなものにする。（60分）
05/26【【知的リテラシーをおくく】リーディング（読む）】
予習内容：教科書（第3章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直しして内容の理解を確かなものにし、指定課題に取り組む。（330分）
06/02【【知的リテラシーをおくく】ライティング（書く）】
予習内容：教科書（第4章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直し、内容の理解を確かなものにする。（60分）
06/09【【知的リテラシーをおくく】ライティング（書く）】
予習内容：教科書（第4章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直しして内容の理解を確かなものにし、指定課題に取り組む。（330分）
06/16【【知的リテラシーをおくく】ライティング（書く）】
予習内容：教科書（第4章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直し、内容の理解を確かなものにする。（60分）
06/23【【知的リテラシーをおくく】ライティング（書く）】*応用型レポート作成実習の予定
予習内容：教科書（第4章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直しして内容の理解を確かなものにし、指定課題に取り組む。（330分）
06/30【【知的コミュニケーション力をおくく】プレゼンテーション（説明的に説明する）】
予習内容：教科書（第5章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直し、内容の理解を確かなものにする。（60分）
07/07【【知的コミュニケーション力をおくく】プレゼンテーション（説明的に説明する）】
予習内容：教科書（第5章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直しして内容の理解を確かなものにし、指定課題に取り組む。（270分）
07/14【【知的コミュニケーション力をおくく】プレゼンテーション（説明的に説明する）】
予習内容：当日に個人で発表するスライドをみかえ1プレゼンテーションの準備をする。（60分）
復習内容：これまでの講義の資料やノートを全体的に見直し、内容の理解を確かなものにする。（90分）
07/21【【知的コミュニケーション力をおくく】ディスカッション（議論する）】
予習内容：教科書（第6章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直し、内容の理解を確かなものにする。（60分）
07/24【【知的コミュニケーション力をおくく】ディスカッション（議論する）】
予習内容：教科書（第6章・教員指定部分）を通読し、授業内容の大意を把握して講義に臨む。（60分）
復習内容：講義の資料やノートを見直しして内容の理解を確かなものにする。（60分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

1年次の「気づきの教育」で見出した、将来の「なりたいたい自分」の実現に向けて、自ら選択した学部・学科・コースの2年次以降の学びに円滑に移行できるよう、基礎的な能力・技能のさらなる向上を図ることを目的とする。
「考える学習型」授業や研究演習に積極的に参加し、課される課題に適切に取り組む上で求められる、汎用的な能力・技能を育成するとともに、各学部・学科の特性に応じた能力・技能の育成を図る。これらを通じて、本学の学生の卒業時に共通して身につけておくべき項目の資質・能力を身につける上での確かな基礎を築く。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

・授業の双方向性について、教科書に付属するワークシートの活用やアクティブ・ラーニングを通して確保する。
・調査・分析等の演習課題において、ICTを積極的に活用することを促していく。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
教員はホテル運営現場(宿泊部門、営業部門、管理部門)経験、およびチェーンホテル本部における海外ホテル運営管理業務に携わった実務経験に基づいて、ホスピタリティ、サービス、宿泊事業等に関する学生の学修意欲に応える。

備考

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |